

稲沢市観光基本計画策定 にあたってのヒアリング調査 【調査結果報告書】

目次

I	調査の概要	1
1	調査目的	2
2	調査方法	2
3	調査期間	2
4	ヒアリング実施団体等	2
II	ヒアリングまとめ	3
1	ヒアリング結果の総括	4
2	ヒアリング項目別の結果まとめ	5
(1)	稲沢市における観光の現状と課題について	5
(2)	稲沢市の観光における「強み」「弱み」について	7
(3)	現在行っている観光に関する取組について	10
(4)	観光に関する行政（国・愛知県・市町村）、他の企業・事業者、団体等との 連携実績及び今後の連携に関するアイデアについて	11
(5)	稲沢市が観光まちづくりを進めていく上でのアイデアや意見について	12
(6)	その他、稲沢市の観光に関する意見について	14

平成 29 年 8 月
稲 沢 市

I 調査の概要

1 調査目的

観光に関わる企業、事業者、団体等の現在の取組状況や今後の意向を把握するとともに、計画策定への参画を促すことを目的に実施しました。

2 調査方法

ヒアリングシートへの記入及び面談による聴き取り

3 調査期間

平成29年5月～6月（5月10日、23日、6月2日、8日、12日、15日、20日、23日）

4 ヒアリング実施団体等

■対象団体等

	団体等又は職業名
1	稲沢市観光協会
2	稲沢市ふるさとガイドの会
3	どまつりダンスチームSPICE！
4	稲沢市国際友好協会
5	稲沢市観光協会ボランティア
6	生花店経営者
7	善光寺東海別院
8	やわせ十八番市実行委員会
9	特定非営利活動法人祖父江のホテルを守る会
10	農業従事者（バラ栽培・菜の花栽培）
11	株式会社国分農園
12	特定非営利活動法人ネイブル
13	尾張大國霊神社
14	菊園製菓
15	平和町商工会（株式会社水谷建設）
16	名古屋文理大学
17	愛知文教女子短期大学

Ⅱ ヒアリングまとめ

1 ヒアリング結果の総括

1 観光まちづくりを推進していく上で、人材育成と横のつながりづくりが重要

稲沢市には、様々な分野で主体的に活動を実施している人材が多くいます。既存イベントの運営やガイドボランティア等においても多くの人材が活躍しており、地域主体でのまちづくりは稲沢市の強みの一つにもなります。

その一方で、持続的な活動や横のつながり等が今後の課題として挙げられており、若者を中心とした新たな主体となり得る人材の育成とネットワークの強化が必要となります。また、各分野やイベント間での横のつながりが薄い状況もみられるため、稲沢市が一丸となり観光まちづくりを進める上において、各分野やイベント間を横でつなぐネットワークの強化が求められます。

2 稲沢市にある多様な地域資源の磨き上げにより、稲沢市の活性化に寄与する観光まちづくりを推進する必要がある

稲沢市の魅力は、歴史分野や草木に関連するイベント以外にも、「木曾川」「和菓子」「産業観光」等、観光コンテンツになり得る地域資源が数多くあります。それらを活用した着地型観光のアイデアも数多くあり、磨きあげることにより年間を通じて稲沢市の魅力を体験できる着地型観光メニューになり得る可能性もあります。

また、「歴史・文化財」は様々な方から、稲沢市の魅力として挙げられていますが、文化財保全等の観点から日常的な公開が難しくなっていると同時に、駐車場やガイドの有無等により受け入れ体制が難しい寺社仏閣もあります。

地域資源を観光のために活用するのではなく、まちづくりのために活用することを念頭に置き、稲沢市の活性化につながる観光まちづくりを推進していくことが必要です。

3 地域資源単体を売り出すのではなく、その背景にある“コト”や“ヒト”に着目し、ストーリーを構築する必要がある

現在において、単純に地域資源等の“モノ”を売り出すのではなく、“モノ”の背景にある“コト”が重要と言われています。稲沢市の地域資源にはそれぞれ歴史があり、本ヒアリングにご協力いただいた方々も含め、多くの“ヒト”が関わり、今日まで継承されてきています。

今後、稲沢市において観光まちづくりを推進するにあたり、“モノ”をみただけの物見遊山的な観光ではなく、各地域資源の歴史的背景やこだわりを“ヒト”との交流により伝えながら付加価値と満足度を高めていくことが必要です。

2 ヒアリング項目別の結果まとめ

(1) 稲沢市における観光の現状と課題について

No.	項目	主な意見
1	人材育成と受け入れ体制	<ul style="list-style-type: none"> ・そぶえイチョウ黄葉まつりでの散策ガイドは観光協会ボランティアの会長が中心になって実施しているが、引退したら実施が難しくなるのではないか。 ・ガイドが不足しており、若者を含めた担い手の拡大が必要である。 ・各分野に秀でている人が多く、人材は多い。 ・イベントなどで歩みを共にしてくれる人の発掘が必要である。 ・有望な人材はいるが、持続的な活動参加に結び付けるのは難しい。 ・プレイヤーを集めることが大事だが、ビジネスとして成り立たないと継続的な活動は難しい。 ・観光協会は10年前と同じ事業をしており、時代に応じた民間的発想が足りない。 ・観光スポット間の情報交換も必要である。 ・植木産業は横のつながりが薄く、盛り上がり欠ける。 ・目比町の松は日本でも有数だが、後継者がいない。
2	年間を通じた観光資源の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・資源が点在していてまとまりがない。 ・観光における面では、資源がすごく乏しい。 ・稲沢市のイメージとして、はだか祭、植木、ぎんなんがあるが、季節が限られており、年間を通して集客を見込める観光地及びイベントがない。 ・稲沢市の資源は季節に偏りがある。 ・知名度の高い祭りやイベントはあるが、年間を通じた集客が見込める資源が少ない。 ・常時体感、体験できるものが無い。 ・市内に有名な（大きな）名所旧跡が無い。 ・老若男女が見たい、遊びたい、行きたい、楽しみたいと思う場所又はルートをつくる必要がある。
3	滞在時間の延長	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地と呼べるような場所がないので、滞在時間が少ない ・滞在時間が見込めない。

No.	項目	主な意見
4	文化財及び 歴史文化の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球大使や象が通った歴史背景を付与しながら、稲場宿のさらなる活性化が必要である。 ・文化財は稲沢市の強みとなるが、保全の観点から日常的には公開されていない。 ・尾張国分寺跡は民有地が大半を占めていることもあり、活用が進んでいない。 ・長光寺の六角堂には珍しい鉄地蔵がある。 ・他市の文化財は江戸時代のもものが中心だが、稲沢市の文化財は江戸以前のもものが多く貴重である。 ・駐車場や案内人の確保など、寺社ごとの受け入れ体制が課題である。
5	既存イベント 及び祭りの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・国府宮はだか祭やそぶえイチョウ黄葉まつりの集客力は、県内でも有数である。 ・そぶえイチョウ黄葉まつりには、関西方面からもツアー客が訪れている。 ・イベントが観光に結び付いていない。 ・市外の人々が祭りやイベントに来やすいようにしてほしい。 ・そぶえイチョウ黄葉まつりであれば料理コンテスト、いなざわ植木まつりであれば剪定技術の紹介等、体験型のプログラムを企画し、参加型イベントにしていくべきではないか。
6	ターゲットの 明確化	<ul style="list-style-type: none"> ・稲沢市の観光にはターゲットが存在しない。 ・稲沢市の資源は若い女性にウケるイメージがない。 ・特に女性にウケる観光資源が必要ではないか。
7	外国人観光客の 受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・市内在住の外国人の方々からも意見を聴取し、外国人が訪れやすいまちづくりを目指してはどうか。 ・国府宮はだか祭は外国の方からの問い合わせも多くある。
8	土産等の販売場所 の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者は、観光に来たときは普段よりお金を使いたいのが、稲沢市にはその場所がない。 ・矢合観音付近で植木、苗木を買えるところが少ない。販売する場所が必要である。
9	観光に対する 意識の希薄	<ul style="list-style-type: none"> ・稲沢市民はあまり外に出ていきたがらないと感じている。まちとしてまとまりがある分、外の人を受け入れることが苦手なのではないか。 ・稲沢市には多様な資源があるが、市民や企業にその認識が薄く、活用ができていない。 ・観光地ではない稲沢市で観光まちづくりを推進するためには、想いの共有と目的の周知が必要である。

(2) 稲沢市の観光における「強み」「弱み」について

◆「強み」

No.	項目	件数	主な意見
1	文化財・歴史	16件	<ul style="list-style-type: none"> ・勝幡城跡は信長生誕の場所とされているが、愛西市も力を入れている。 ・尾張国分寺跡は史跡整備に向けて土地の購入を進めているが、まだ足りていない。今後、博物館や集客施設の整備も検討すると聞いている。 ・大里の安楽寺、無量光院は毎年大晦日に公開され、ライトアップもされる ・市内には素晴らしい文化財（寺）が多くある。
2	国府宮はだか祭	9件	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラム圏を除き、国府宮はだか祭は外国人の興味を引く。 ・国府宮はだか祭が全国ニュース等で紹介されているため、稲沢市の知名度は高いと思う。
3	草花、植木関連のイベント	6件	<ul style="list-style-type: none"> ・梅、桜、植木、あじさい等の花関連のイベントは稲沢市の魅力の一つだと思う。 ・花関連のイベントは「花を見る」「出店等で食べる」「土産を買う」ことができる。 ・そぶえイチョウ黄葉まつりと稲沢梅まつりは、他市ではあまりない祭りなので価値がある。
4	ぎんなん	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・ぎんなんは稲沢市の魅力の一つである。ドイツでは薬にも使われているため、上手く活用できないか。 ・農地だけではなく、身近にぎんなんを見ることができる場所があると良い。
5	木曾川 (サリオパーク祖父江を含む。)	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・サリオパーク祖父江内のワイルドネイチャープラザにある芝生広場は気持ちがいい。野外フェスもできるのではないか。 ・サリオパーク祖父江には木曾川分流の遺構があり、歴史を知ると楽しみが増える。

No.	項目	件数	主な意見
6	交通アクセス	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路のインターチェンジが近く、名鉄もJRも通っている。何よりも名古屋から近い。 ・名鉄本線、名鉄尾西線、JRの駅があり、電車での移動が便利である。
7	マルシェ	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・矢合観音縁日やわせ十八番市や国分寺マルシェは地域主体で実施されており、賑わっている。
8	和菓子	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・松屋長春の和菓子はマスコミで大きく紹介されたこともあり、並ばないと購入できないほどの人気である。
9	自然の豊かさ	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・特に祖父江町は自然が豊かで、ホテルや河畔砂丘等、地域資源も多い。
10	鉄道・貨物	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・稲沢市は日本三大操車場の一つがあった場所なので、JRと連携することができれば、魅力的なコンテンツが生まれる可能性がある。

<その他の意見>

- ・観光資源が豊富
- ・あしたば
- ・バナナ園、いちご園
- ・祖父江ふれあいの郷（天然温泉）
- ・虫送り等の地区の祭り
- ・農地が豊富であり、広く空地も多い。
- ・立派な日本家屋が多い。
- ・ガイドやインタープリター等、一部専門家の能力が高い。
- ・広域観光の可能性
- ・産業観光の可能性（グランドボウル・三菱エレベーター試験塔等） など

◆「弱み」

No.	項目	件数	主な意見
1	売るべき観光資源を 絞り込めていない	5件	<ul style="list-style-type: none"> ・稲沢市といえば「これ」という売りが ない。 ・来訪客を呼びこむことができるコン テンツが少ない。
2	駐車場が少ない	5件	<ul style="list-style-type: none"> ・大型バスを受け入れることができる 駐車場が少ない。 ・観光スポットの駐車場が少ない。
3	二次交通の不足	5件	<ul style="list-style-type: none"> ・稲沢市に来てからの移動手段がな い。 ・二次交通としてコミュニティバスが あるが、観光スポットを回るには不 便である。
4	活動者の連携不足	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・稲沢市には文化財を案内する「稲沢 市ふるさとガイドの会」と観光地等 を案内する観光協会の「観光ボラン ティア」があるが、両者の連携が上 手く取れていない。 ・事業者同士が交流できる機会や場所 が少ない。
5	宿泊場所が少ない	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・ボウリングの大きな大会が市内で開 催されるが、紹介できる宿泊施設が 少ない。

<その他の意見>

- ・植木の販売場所が不足している。
- ・本気で歴史について知りたい人の需要に応えられていない。
- ・文化財の説明看板等も含めた案内表示が不足している。
- ・案内ガイドの人手不足
- ・観光事業者が少ない。
- ・観光業が成り立たない
- ・イベントへの参画意識が薄い。
- ・体験型の観光メニューが少ない
- ・公園が少ない。 など

(3) 現在行っている観光に関する取組について

No.	主な意見
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業的取組として、イチョウ黄葉を通じた環境観光を提言している。 ・ 有償ボランティアへのインセンティブとしての地域通貨の創成を研究している。 ・ リサイクルを含めた自転車関連事業を実施している。 ・ 商工会関連の助成金、補助金申請事業に着手している。 ・ 青空市場の構築を企画中である。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダンスチームに所属しており、25 人程で“にっぽんど真ん中まつり”に参加している。祭りを通じて、稲沢市を発信している。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ いちじくの和菓子など新商品を開発し、ショッピングセンター等に営業に行っている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲沢市ふるさとガイドの会では寺社のガイド活動をしている。 ・ 大里西小学校では3年生を対象に郊外活動として、奥田の安楽寺と性海寺をガイドしている。 ・ 観光協会の観光ボランティアでは「稲沢あじさいまつり」「祖父江イチョウ黄葉まつり」「梅まつり」等に参加している。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲沢市ふるさとガイドの会は“勉強”がメインになっている。ガイドをしたかったので、観光協会の観光ボランティアにも参画している。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台湾やタイ等からの留学生を受け入れ、ホームステイの紹介をしている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページやプレスリリース、愛知県観光協会を通じて稲沢市における観光情報を発信している。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホテルの保全活動、子ども達への環境出前講座を実施している。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学のゼミ活動で、一宮市内の商店街活性化に取り組んでいる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花育を実施している。 ・ 稲沢高校の園芸科と連携し、ビクトリーブーケを作る取り組みを行っており、稲沢シティマラソンでは賞状と一緒に渡している。今後は、オリンピックやアジア大会での活用を目指す。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲沢市観光ボランティア（登録30名程度）の会長をしている。 ・ そぶえイチョウ黄葉まつりでは来訪客にガイドを実施している。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関西、東海地方の旅行業者への挨拶まわり ・ 団体客の接待（法話など） ・ 愛知県観光協会が主催する各イベント等への参加 ・ 境内、駐車場等の整備 ・ そぶえイチョウ黄葉まつりの開催時に合わせて寺から祭り会場までのシャトルバスを運行 ・ 御開帳（7年に1度） ・ 菊の展示

No.	主な意見
13	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休畑を活用して菜の花やひまわりを栽培し、地域の景観づくりを行っている。 ・栽培した菜の花から、菜種油をしぼって販売している。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・いなざわ梅まつり、稲沢あじさいまつり、名鉄ウォーキング等のイベントの手伝いをしている。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの伝統野菜等を栽培し、名古屋市内のレストランへの卸し事業をやっていききたい。いずれは年間を通じて果物狩りができる観光農園や貸し農園も展開していききたい。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・矢合観音でマルシェを開催している。主なターゲットは「親子連れ」で、平日でも来ていただけるようにプログラムを企画している。

(4) 観光に関する行政(国・愛知県・市町村)、他の企業・事業者、団体等との連携実績及び今後の連携に関するアイデアについて

No.	行政
1	・いなざわ植木まつりでの連携(市)
2	・いなッピーグッズの販売(市)
3	・愛知県農林水産部食育消費流通課が開催する年2回の菜の花エコプロジェクト情報交換会に参加している。(愛知県)
No.	企業・事業者
1	・名古屋鉄道(名鉄ハイキングでの特産品販売、ぎんなんの試食、和菓子等の販売)
2	・毎年モリコロパークで開催される愛知駅伝「愛知ふるさと市」でのブース販売
3	・グルメガイドの発行、グルメシールラリーの実施等における市内飲食事業者との連携
No.	団体
1	・稲沢市観光協会との連携協力
2	・いなざわ梅まつりでは稲沢商工会議所と連携している。
3	・稲沢イルミネーション事業への参画
4	・稲沢市社会福祉協議会(福祉実践教室の授業で中学校や高校へ行っている。)
5	・祖父江町商工会
6	・非特定営利活動法人祖父江のホタルを守る会
7	・稲沢輪業組合(稲沢リサイクル自転車協力店)
No.	その他
1	・大里東地区のサマーナイトフェスティバルでは地元の中学生と連携している。
2	・法務に強い機関と連携することができれば、新規事業(観光農園)等に取り組みやすい。
3	・名古屋大学の留学生センターと連携している。

(5) 稲沢市が観光まちづくりを進めていく上でのアイデアや意見について

No.	項目	主な意見
1	着地型観光	・盆栽を見て、作って、持ち帰ってもらうことができる半日コースがあると良い。
2		・仏像をただ見るだけでなく、視点を変えて上や裏から見たりすることができれば面白いと思う。
3		・イチョウは葉っぱが落ちる瞬間が一番面白い。定点カメラで動画を撮影してはどうか。
4		・健康志向が高いので、「体力づくり」「食育」「観る」等を上手に取り入れたメニューがあると良い。 (例) 名鉄の国府宮駅や大里駅にレンタサイクルを一定期間置き、市内の観光地を巡る。
5		・焼酎づくりや芋掘り体験等の体験型メニューを開発することにより、滞在時間を延ばす取り組みが必要である。
6		・衣装を着た庭師による植木剪定を、寺社を会場にしてパフォーマンスとして見せることが出来れば面白い。
7		・観光ボランティアと連携して、文化財を公開している国分寺マルシェを参考に、様々な文化財見学ツアーを企画する。
8		・生きた歴史の酒店である藤市酒造と連携する。
9		・短時間で多くの寺社仏閣を回れるルートを作って、そのことを稲沢市の自慢にする。
10		・稲沢市には抹茶文化が根付いており、地域の集まりでも抹茶が出る。茶室がある家もあり、お茶の先生も市内にいるので活用してはどうか。
11		・外国人にとって写真映えは必須。着物や料理体験もウケると思う。 ・銀杏を使ってじっくり料理体験できるメニューがあると良い。
12		・外国人が気に入った盆栽を海外に持ち帰ることができる手段の検討が必要である。
13		・持って帰れなくても、稲沢市に自分の盆栽が置いてあるので、好きな時に見に来てもらうという取り組みも良いと思う。その場合には管理体制の検討が必要である。
14		・ホームステイで市民と交流しながら、稲沢市の魅力を体験できる仕組みがあると良い。

15	イベント	・若者が来たくなるようなイベントを増やす。
16		・サリオパーク祖父江の祖父江砂丘で開催されるサンドフェスタで、ビーチバレー大会、野外コンサート、砂像づくり教室等、若者向けのプログラムを企画する。
17		・毎月、市内のウォークラリーコースを設定し、それに企業連携による工場見学を組み込む。その場合、歩道の整備、公園等の公衆便所の整備が必要である。
18	グルメ	・B級グルメを開発する。
19		・稲沢市はグルメが弱いので、充実が必要である。
20	人材育成・活用	・元気な高齢者が多いので、活躍の場があると良い。自ら勉強している人もいるので、ガイド等に参画していただく。
21		・教えてほしい人が教え、教えてもらいたい人が教えてもらう「市民大学」を立ち上げてはどうか。
22		・持続性を持たせるためには、人材発掘、育成拠点の開設が急務ではないか。
23	情報発信	・テレビ番組等でたくさん稲沢市を取り上げてもらう。
24		・インスタグラム等での発信が重要になるので、国府宮駅から稲沢駅までの道路に写真映えするスポットの紹介やパネルを置いてはどうか。
25		・SNS等を活用して観光情報を発信する。
26		・寺社の写真が載ったパンフレットがあると良い。
27		・「写ルンです」が流行っているので、稲沢市限定のパッケージ等を作り、活用してはどうか。
28		・高校生、大学生のSNSはインスタグラムやツイッターが中心である。
29		・市内観光スポットにもっと案内看板等があると良い。
30	観光拠点	・駅前に活動交流拠点があると良い。
31		・駅と駅が離れているので、ルートを設定し、線にしていくことが必要ではないか。
32		・旧郵便局を美濃路街道の目玉にする。改装して、1階を市民や観光客が交流できる場とし、2階を資料室等にする。
33		・祖父江にぎんなん品種見本園等があったら良い。
34		・道の駅のような拠点となる施設やスペースがあると良い。例えば、そこにイベントスペースをつくり、定期的に各寺社の特集を組んで発信できると良い。

<その他の意見>

- ・若い女性向けの観光メニューの創設
- ・ファミリー層に向けて木曾川や砂丘を活用する。
- ・産業観光の推進
- ・広域観光の推進
- ・駅周辺の活性化
- ・お金がおちる仕組みが必要である。
- ・各商工会との連携
- ・VRではだか祭りを体験できると面白い
- ・市民が稲沢市を自慢できるようになることが重要 など

(6) その他、稲沢市の観光に関する意見について

No.	項目	主な意見
1	観光資源になり得るコンテンツ	・繊維産業が盛り上がっていたこともあるので、工場跡等を活用することも検討してほしい。
2		・稲沢市にあるJR貨物や機関車を観光資源として活用できると面白い。
3		・宮田用水や土地改良区等、木曾川に関連した歴史を活用してはどうか。
4	情報発信	・すぐに取り組の成果が得られるものではないので、広くPRをし続けていくことが大事だと思う。
5		・継続して活動していくための応援（補助金や種の配布など）を期待する。
6	若者	・観光情報を効果的に発信するため、ホームページの充実は必須である。
7		・大学生の意見を多く取り入れたほうがいい。
8		・ゲームの影響により、歴史が好きな若者も多い。
9	観光協会	・特に若者はモノ単体よりも、そこに潜む背景やストーリーに関心がある。仏像一つ取っても、彫師のこだわり等を知りたいと思う。
10		・観光協会の組織体制として、市職員のOBではなく、専門的なプロパー職員を採用すべきと考える。
		・2、3年で職員が交代してしまうため、組織の継続性が大きな課題となっており、負のスパイラルが生じている。職員の採用を含め、観光協会の組織強化に向けて真剣に考える必要がある。

11	イベント・祭り	・祭りとは「踊らにゃ損損」の精神なので、参加や体験をしてみないと地域に活気は出ない。
12		・交通の不便さの解消と休憩場所の整備等により、祭りを盛り上げる仕組みがあると良い。
13	ガイドとの連携	・観光ボランティアを大いに活用してほしい。どこの町に行っても、必ずボランティアガイドの人が案内してくれる。いろいろな話が聞けることはやはり楽しいし、どこを見れば良いのか分かるのでありがたい。
14		・国分寺マルシェは素晴らしい。稲沢市ふるさとガイドの会とも連携し、文化財も公開されている。
15	観光まちづくり全般	・観光客を「外国人」「20～40代」「50代以上」等、特定のターゲットに絞ったほうがいいのではないかな。
16		・稲沢市のことを好きになってもらい、何度も来てくれるリピーターが必要である。
17		・市の発展につながる観光まちづくりを推進してほしい。
18		・稲沢市は保守的なところがあるので、新しいことにチャレンジすることは難しいと考える。
19		・観光まちづくりの推進には、組織的なリーダーシップも必要である。
20		・インバウンドにも取り組んでいく必要はあるが、まずは来訪客の稲沢市への満足度を向上させる必要がある。
21		・「一緒にやろう！」という人同士のつながりが必要である。

稲沢市観光基本計画策定
にあたってのヒアリング調査
【調査結果報告書】

平成 29 年 8 月発行

発行 稲沢市 経済環境部 商工観光課

〒492-8269 稲沢市稲府町 1 番地
TEL : 0587(32)1332 FAX : 0587(32)1240